玖島石鬼

故郷ひらき 世をひらく

学校HP

大村市立玖島中学校
学校だより　第23号
R6．11．29発行
文責：校長　大場祥一

「玖島中学校区PTA講演会」確かな学びとなりました。

17日(日)に「玖島中学校区PTA講演会」が、心配された天気も持ち直す中、三浦小学校ＰＴＡ主幹の下、玖島中学校体育館で開催されました。放虎原小の栄養教諭 野口由希子先生の「ほんのちょっとだけ」と題した講演でした。保護者の皆さんへの話、朝食や夕食についての話が中心でしたが、ご自身の家庭での食や幼い頃の食の思い出とそこに感じる感謝や大切さ、大村市の給食提供に係るお話をたくさんしていただきました。大切な余暇の日にもかかわらず、100名を超えるＰＴＡ参加者の皆様の確かな学びとなりました。「吸う酸素と同じで、摂る食事が当たり前としていたが、その大切さが分かった」、「時間の経つのが早かった」、「親の関わりにタイムリミットがあると危機感を覚えた」などという感想を伺いました。以下ちりばめられた言葉を載せてみます。詳しくお知りになりたいことは、参加された方々にお尋ねください。

○20歳くらいまでに一生涯の体づくりができあがる。
○私たち親が子供の食に関われるのはせいぜい１８歳までである。
○それまでに食についての『よい習慣づくり』『バランスづくり』をする。
○『よい習慣づくり』……食べる、考える、マナーなど
　『バランスづくり』……栄養、時間など
○BONEづくりが未来を決める……18歳までが勝負、カルシウムとビタミンD
○BLOODでバテない体づくり ……鉄分摂取
○朝ご飯は、午前中の集中力維持のために大切

昨年度お話いただいた江頭先生は、「習慣づくり⇒親亡き後を思うことが大切」、「教育の肝は、どんな癖や習慣をつけていくか」、「我が子が成人になるまでに、どう生きていけるか、生きていく力を付けているか」が大切だと仰っていました。重なるところがあると感じました。

第59代から第60代へ確かな襷リレー！

代々引き継がれてきた玖島中の生徒会の襷を３年生がしっかり牽引しています。第59代から第60代の生徒会への引き継ぎに向けて、生徒会役員選挙の取組が毎日続いています。朝の取組等から、確かな意気込みや姿勢があふれ出ています。玖島中は健在です。

12月の行事予定

4日（水）生徒会役員選挙
13日（金）大村市標準学力調査(1､2年)
15日（日）家庭の日
16日（月）専門委員会
17日（火）授業参観 ＰＴＡ
20日（金）市場調査(校外学習:1年)
23日（月）大掃除
24日（火）２学期終業式、ワックスがけ

1月の行事予定

1日（水）元日
4日（土）学校閉庁日（12/28～）
8日（水）３学期始業式、表彰伝達
10日（金）生徒会役員任命式・引き継ぎ式
13日（月）成人の日
19日（日）家庭の日
24日（金）くしマルシェ、授業参観
28日（火）公立特別選抜検査
29日（水）専門委員会

飛耳長目

「天知る、地知る、我知る、人知る」は、誰も知らないと思っていても、悪事や不正はいずれ必ず発覚するという戒めの言葉です。

アメリカの十六代大統領リンカーンは、二十歳の頃、一日の商売を終えて売上帳と現金を突き合わせて、現金が三セントだけ多いことに気づきました。あれこれと一日を振り返り、「雑貨を買って帰られたご婦人に、ハドル三セント払ってしまったおつりの間違い」だと、ようやく気づきました。

「すぐに返さなければ」と思い、住まいの見当をつけ、夜道を急ぎました。一時間ほどでどうにか見つけた婦人の家に辿り着き、「お買い上げの折、おつりを間違えました。すみません」と三セントを差し出しました。すると、婦人の感激は大変なもので、リンカーンの行動や姿勢、気持ちを誉めたそうです。

ある有名な音楽家は、「練習を一日休むと自分が気づく、三日を休むと師匠が気づく、一週間休むと観衆が気づく」と心に留め、毎日練習を一生懸命続けているそうです。

常に行いを正しくし、天にも、地にも、自分にも、そして他人にも恥じない人間であり続けたいものです。